

フローチャート式 歯科医のための 救急処置マニュアル 第3版

一次救命処置ガイドライン 2010 準拠 DVD ビデオ付

横浜市緑区・みほ歯科医院
古城千恵（歯科衛生士）



B5判/168頁
定価7,140円
(本体6,800円+税5%)
医歯薬出版刊
(2012年11月発行)

もしも、患者さんが突然急変し意識を失ってしまったならば……。皆さんは、即座に適切な判断と対応ができますか？

本書の冒頭には、“日ごろからトレーニングを繰り返し行っても、実際に患者さんが急変したとき、落ち着いて的確に対応することは容易ではない”と、その答えが書かれています。いざという場で、心構えのない状態で適切な行動をとることはなおさら困難です。日常業務のなかで「いつもやっていることだから……」「いままで何も起こらなかったから……」と油断しているときにこそ偶発症は発生します。そんなとき、院長の指示待ちをしては、一刻を争う場ではどんどん状況が悪化していきます。タイトルは『歯科医のための救急処置マニュアル』ですが、いざというときに対処するのは歯科医師だけでなく、歯科衛生士をはじめとするまわりにいるスタッフも同様です。チームワークは歯科治療だけでなく、救急処置の場面でこそ必要といっても過言ではありません。

本書には、「患者さんが急変したときに何をしたらよいか？」について、原因・症状・

対処法がそれぞれわかりやすくまとめられています。たとえば、「血圧が上がったら」「頻脈がみられたら」「呼吸の異常がみられたら」など、症状ごとの事例が記載されています。そして、その対処方法としてはバイタルサインの測定が必須であり、具体的なマンシェットの巻き方やパルスオキシメータの装着方法、普段あまり使用する機会のない酸素ボンベや、救急薬剤の投与方法も写真やDVDで詳しく平易に解説されています。

私は横浜市緑区歯科医師会が開催している日本救急医学会認定BLS（一次救命処置）・ICLS（二次救命処置）コースを受講し、さらに同コースの認定インストラクター資格を取得しました。現在、年2回の講習会でインストラクターを務めています。救命講習会ではたくさんの経験をさせてもらい、「知識がある」「体験したことがある」ということが急変事はもちろん、日常の歯科診療業務のなかでいかに大切なことが強く感じます。

本書には一時救命処置（BLS）のフローチャートが写真つきで掲載されており、成人・小児別の心停止時の対応やAEDの使い方、心肺蘇生後のケアまでわかりやすく解説されています。

顔色が悪い、最近疲れ気味という患者さんがいた場合、そのまま何事もなく診療を行うのではなく、“もしかしたら”という考えが頭に浮かぶことが重要だと思います。そんなとき、本書をすぐ広げ確認した後、診療に入ることで安心・安全な歯科治療を行っているという自信をもって言えるのではないのでしょうか。ぜひ、一読をお勧めします。